

本物と偽物の関係

「主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。幸いなことよ。彼に身を避ける者は。」

詩篇 34・8

子

どもの頃、家の畑の脇にクサイチゴの実がなるのを毎年楽しみにしていました。小さな赤い実を見つけては喜んで食べたものです。どういうわけか、そのすぐ近くにヘビイチゴの実も毎年できましたが、これはもちろん食用にはなりません。好奇心からその実を口にしたことがあります。何とも形容しがたい味が口の中に広がり、その後は二度と味見をする気になりませんでした。

人間の立場から本物・偽物と決めつけるのはお門違いかもしれませんが、私にとってヘビイチゴは「クサイチゴの偽物」にほかなりませんでした。狙ったかのように同じ場所に、同じような赤い実をつけて、区別がつきにくい。この場合、食用になる・甘い（つまり私にとって価値がある）方が「本物」、そうでない方が「偽物」というわけです。

考

えてみると、人間が偽物を作り出す場合はたいいていこの区分が

こ

当てはまります。つまり、人間にとって価値の高いものが本物で、それに似せてあつて価値の低いものが偽物なのです。紙幣・貨幣に始まって、宝石や貴金属、骨董品や芸術品、高級ブランド品等々、偽物が存在するアイテムを数え上げればきりがありません。

うした本物・偽物の区分を宗教に当てはめて、「キリスト教には『偽物』（キリスト教のように見えて実は別の教え）が多い、これはそれだけ『価値が高い』証拠だ」と考える人がいます。それは正しい意見ですが、考えるだけでは不十分です。ちょうどクサイチゴの実を口にして初めてその甘さがわかるように、実際にキリスト教を体験することによって、初めてその真価が発揮され、私たちの心と生活に幸いな変化が起こるのです。

あなたもお近くの教会で、「本物」を体験してみませんか。

リーフ
#46

「すべて疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」とキリストは言われました。

神の平安を求めて、**高津キリスト教会**においでください。

213-0001 川崎市高津区溝口4-3-18

044-822-4084 <http://tkchurch.com>

（田園都市線高津駅下車1分）



礼拝 日曜日 10:30～

祈り会 水曜日 19:00～

第1・第3木 10:30～



変えられた人生観

インマヌエル高津教会 長岡淳三

しがらみの中で

昭和四三年、私は山形より上京し、横浜の会計事務所の門をたたきました。事務所の先生は言いようのない大変な方で、仕えるだけで全神経を使い、しがらみの重圧の中で心の休まる暇がありませんでした。結婚してからは妻の幸枝も事務所の先生の奥様に仕えることになり、心労の始まりとなりました。時が過ぎ、独立の時期を迎えたときは大変なこととなりました。覚悟の上とはいえ、筆では表わせない言葉を浴びせられ、ことある毎に繰り返されることとなりました。絶対的権力者の下、義理と人情のしがらみの中でもがきながら、先生を乗り越えるため大変なエネルギーを費やす毎日でした。



家族と共に

緒に、妻の事を心配する日々が続きました。そんな中、妻は知人に誘われ教会に通い始め、その頃から少しずつ体調も回復し、表情も、明るく生き生きと感ずるようになりました。

私の方は相変わらず、先生から色々な問題を投げかけられ、その都度心は揺れ動きます。(もうこんな生活はいやだ。俺は何をやっているんだ。精神的な支柱が欲しい!) そんな時、しっかりと立ち直った妻の様子を見て、教

会に興味を持つようになりました。

平成十二年、私は教会の門をたたき、翌年、教会の牧師より洗礼を受けました。その時与えられた聖書の言葉は、「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」(Ⅱコリント五・十七)でした。

自我と根性の世界から

受洗後、私の人生観は大きく変えられました。自分の生き方であった、負けてたまるかの自我と根性の世界から、「力のない弱いありのままの自分で良いではないか。全ての足りなさを神様にゆだねることが一番。何もこだわる必要はない。」と思えるようになりました。酒を飲んではストレスのほけ口を家庭に持ち込んでいたことから解放され、家庭も明るくなりました。

また「隣人を愛せよ」とは程遠い業界の門をたたき、先生との確執の中で

クリスチャンと変えられましたが、先生を赦すことができず、この事から逃れたい気持ちを持ち続けておりました。先生は数年前に他界されましたが、いつも夢に現れます。今は和解を求め祈ることができるようになり、自然と平安な気持ちがわいてくるようになりました。

仕事上、私はこれまで二度大きな試験に立たされました。その都度教会でお祈りして頂き、牧師から御言葉を頂きました。

「それは、主が、悩みの日に私を隠れ場に隠し、その幕屋のひそかなところに私をかくまい、岩の上に私を上げてくださるからだ。」(詩篇二七・五)

ひたすら御言葉を信じ祈る中、最善の解決策を与えられ、これが神のなせる業かと実感しました。今も大切な時はカバンの中に聖書を一冊入れ、神の助けの下で仕事をしています。



二人の兄と

酒を飲んでではストレスのはけ口を家庭に……